「大阪都」構想は百害あって一利なし！

2月23日の府議会開会日には昼休み集会とパレードが行われた

橋下大阪市長が率いる「大阪維新の会」が強引に押し進めようとしている「大阪都」構想は、大阪市を解体し、権限も財源も府に吸い上げられ、5つの特別区に分割するものでしかありません。橋下市長は「住民に身近な自治体になる」といいますが、国保、介護、児童施設、水道事業など福祉・暮らしにかかわる百以上の事業を一部事務組合で行う計画です。

これまでは、大阪市民が「国保料を下げて」と要求し、大阪市が受け入れれば引き下げることも可能でした。一部事務組合では、それぞれの特別区が合意しないと簡単に引き下げができません。暮らしにかかわる住民の願いが、自治体から遠くなってしまいます。

大阪市の解体を許さず、住民投票にきっぱり「反対」の意思を示し、維新政治に退場を突きつけましょう。

住民投票できっぱり反対を！

「We Say No! 5.17 Osaka」を掲げ宣伝

大阪府教育委員会の中原教育長が第三者委員会によって、パワハラとして違法性を有するものがあったと認定されました。3月9日、府民要求連絡会が呼びかけた任命権者の松井大阪府知事に罷免を求める請願行動には、多くの府民が参加しました。

パワハラ教育長はいらない！

おおさか自治体の仲間
発行：大阪自治労連（大阪自治体労働組合総連合）　2015年３月15日　No.311
〒530-0041 大阪市北区天神橋１-13-15大阪グリーン会館４階　☎06-6354-7201　FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp
発行人／大原　真　　編集人／鴻村　博
毎月15日発行（１部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

再建しました青年部

一つひとつ成功体験を積み重ね みんなで喜びわかちあいたい

佐々木さん（右）と青年部副部長の平田元気さん

1月30日に選出された青年部の役員のみなさん

枚方市職労青年部長
佐々木　啓員（ひろかず）さん

枚方市職労青年部は、１月30日に臨時再建総会を成功させ、元気よく青年部活動をスタートさせました。その先頭でがんばってきた、佐々木啓員新青年部長に思いを語ってもらいました。

２０１２年に入職して以来、先輩に誘われるまま組合の行事に参加し、青年部活動が存在しないことにさしたる疑問を持ちませんでした。一方で、２０１３年以降は新採加入の取り組みで、企画段階から青年が中心となって歓迎会や対話活動を行い、企画会議を「なかまをふやそう！大作戦会議」と名づけました。

青年部って必要なのか？話し合いが再建の力に

とくに青年部再建の機運が高まったのは、昨年の春でした。新規採用の正規職員から近年にない規模で市職労への加入があったのです。有志の青年組合員が集まり、バーベキュー大会などの催しもおりまぜながら、会議を重ねました。

準備メンバーのなかでも青年部再建の時期をめぐって温度差があったり、何をどのように進めていけばいいのか？わからないことも数多くありました。先輩の力を借りながら、新たな規約の話し合いを重ねたり、他市の青年組合員と交流するなかで、青年部の意義についての理解が少しずつ深まりました。

また、昨年６月の「おきプロNEXT」に保育所の青年３人が参加。報告の集いに30人の青年が参加したことも大きな力となりました。

この春　新入職員を市職労に迎え入れ　活発な青年部へ

「まっさら」なスタート　自由な気持ちでチャレンジ

総会当日は市職労の先輩たちや、他の単組の方も多く駆けつけてくださり、身が引きしまると同時に、とても温かい気持ちになりました。

「まっさら」の状態でのスタートですが、自由に物事を考えられたり、新しい企画ができたらいいなと思います。

まずは自分たちが楽しめることから始め、小さな成功体験を積み重ねて、少しずつ組合に対する「固い」イメージを払拭し、組合への垣根を低くしていきたいです。この春の新入職員を市職労に迎え入れ、活発な青年部をつくっていくつもりです。